



小域福祉ネット

牛久

第 35 号
令和7年8月
発行
牛久小学校区
小域福祉ネットワーク
広報委員会
2月・8月発行
発行責任者
山本 義雄



ネットワークの組織図

顧問 小池 茂夫

会長	山本 義雄
環境部会長	井上 孝一
高齢者部会長	兒井 敏雄
子ども部会長	小柳 正公
書記	中川 正孝
会計	志村 絵美
理事	日山 正泰
理事	加藤 功
理事	鈴木 良和
理事	永野 祐治
理事	山本 和幸
監事	小野 一道
監事	常泉 和男



今年度の総会は「なのはな館」で五月二十五日に四十九名の出席者のもと開催された。令和六年度の事業報告・収支決算報告及び会計監査報告の後、今年度の事業計画・予算が提案され、満場一致で承認された。

さらに、ネットワークの組織の強化を図るために、日常生活支援事業、防犯・防災担当の二つ組織を設けることを提案し承認された。

組織の改定により、ネットワークの活動が充実されると期待される。

日常生活支援事業／防犯・防災担当 新設

令和七年度総会開催



(総会議長の田中信廣氏)

積極的な参画では、地域内で、一定のニーズの方向性が見えてきたところです。

日常生活支援事業活動

子ども居場所づくり

昨年度の活動では、将来的な「子どもの居場所づくり活動」への取り組みのひとつをきっかけづくりとして、本事業に経験豊富な「大岩啓子アドバイザー」を組織の一員として迎え、関係者(学校関係者・地区社協・役員)との理解・協力を深める意見交換会を進めてきました。事業そのものの運営主体を当該組織で担うことは、組織力からいっても非常に難しい実状があることから、実態に即したお手伝いが出ればと考えています。

子どもの居場所づくり

今年度の抱負

今後ますます需要が高まる地域福祉活動に「早期に気づき、互いの連携で支援につなげる」活動がスタートしました。

活動の活性化と持続性

雑草処理等の要望が多いこともあり、気候と調整しながら支援員への配慮等が課題となります。また組織とより一層の協調を図ります。

小学校の統合による各地域の活動領域の変化に対して関係者との協調を進め、より良い活動となるよう、柔軟に対応していきます。

今年度総会時に会員の皆様方からいただいた、貴重なご意見は大きな支えとなります。そのなかで特に活動のバックアップとなる財政運営において、「さらに透明性を高め、分かりやすい運営方法」を徹底します。

また役員だけではなく「地域の活動リーダー支援」にも意を注ぐとともに、「地域防災への積極的な関わり」を図るため、現在活動している「南総災害対策委員会」との連携を強化することを進めます。

そのためには、より具体的な活動領域が明確になるよう組織体系を再編しました。

高齢化による構成員の減少、新たな地域福祉課題への取組等、やるべき課題は山積してはいますが、昨年度同様に「活動の活性化と持続性・新たな地域福祉への貢献・次世代への橋渡し」を目標に活動して参りますので、皆様方のお願いたします。

小域福祉ネットワーク
会長 山本 義雄

